SLIK スタンドポッド GX-S

取扱説明書

このたびは、スリック製品をお買い求めいただきまことに
ありがとうございます。ご使用前にこの説明書をよくお読みいただき
正しく、十分に性能を生かしてお使いください。お読みになったあとは
必ず保管し、わからないときには再読してください。

⚠ 注意 このマークは取扱いを誤った場合、人が傷害を負ったり
物的損害の発生が想定される内容です。

⃠ 禁止 このマークは禁止（してはいけないこと）内容です。
説明にしたがい事故のないようお使いください。

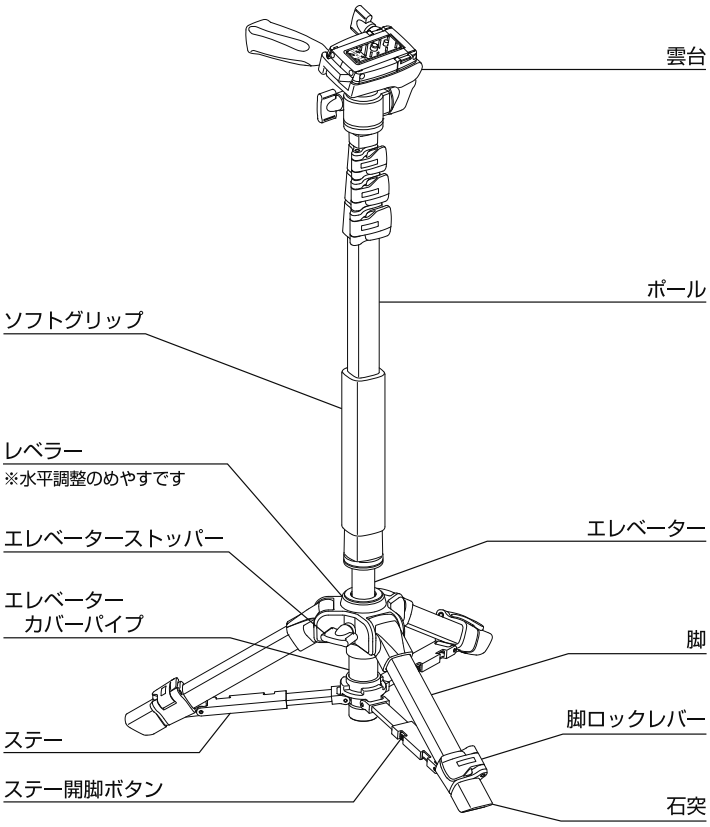
W457

仕様

縮長	710 mm
全高	1,875 mm
質量	1,045 g

ケース付

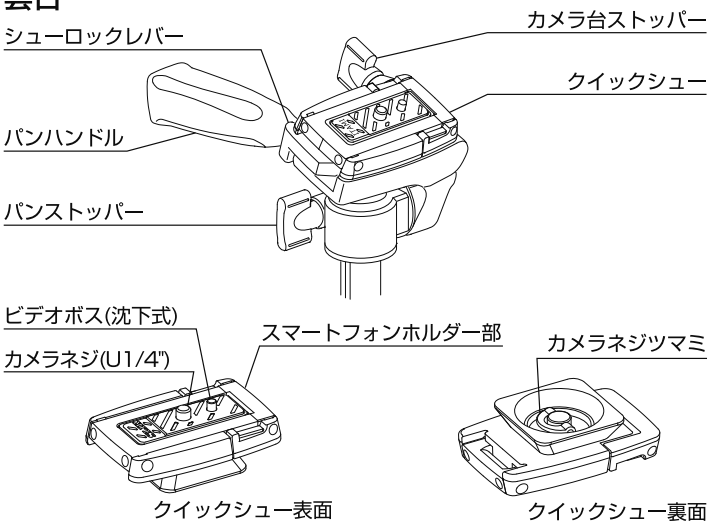
各部名称



※三脚用のレベラーは水平調整のめやすです。
カメラ内蔵のレベラーとは精度が異なります。

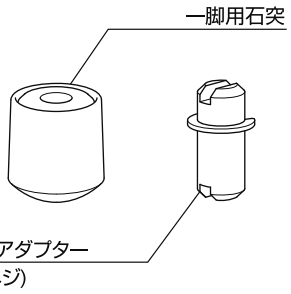
⚠ 注意
ソフトグリップは消耗品です。永久的に使用できるものではありませんので傷んだら
お買い求めの販売店またはアフターサービスへご依頼ください。
(無料修理保証の対象外です。)
※まれに黒い色が付着することがありますのでご注意ください。

雲台

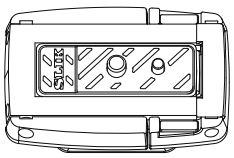


付属品

アダプターセット



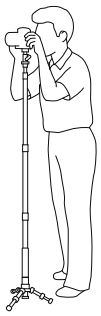
別売品



6509 DIN クイックシュー
(スマートフォンホルダー機能付き)

使用上の注意

⚠ 注意



使用中は必ずそばについて離れないでください。
製品が転倒して機材の破損や使用者・周囲の人
へのケガ、物損等をおこすおそれがあります。

搭載する機材

⃠ 禁止

最大搭載質量：1 kg

これ以上の機材は載せないでください。
また、上記搭載質量以下のものであっても
重心位置によりバランスの取りにくいものも
あります。
この製品は一般の三脚の様に安定しませんので、
使用中は必ずそばについて離れないでください。

使用可能なスマートフォンサイズ

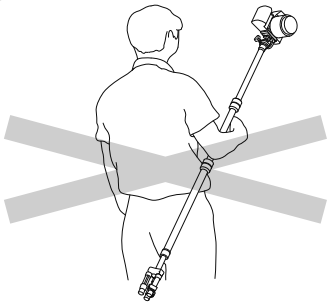
⚠ 注意

幅　：58mm ～ 90mm
厚さ：12mm 以内

スマートフォンや外装ケースの形状によっては、
上記寸法内でも確実な取り付けができない場合が
あります。

持ち運びのとき

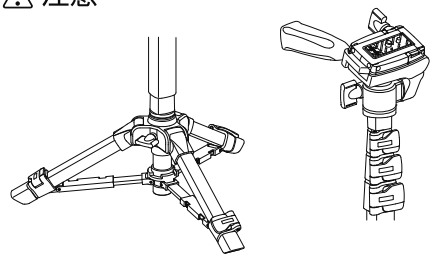
⃠ 禁止



カメラは三脚や一脚から外して持ち運んでください。
カメラの落下、使用者や周囲の人へのケガ、
物損等を起こす可能性があります。

機材のセットアップ

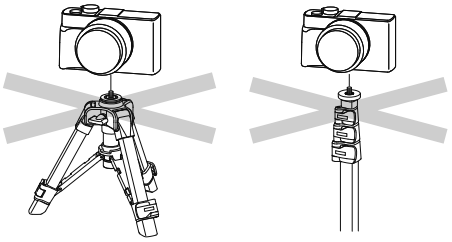
⚠ 注意



カメラの取り付け、ハンドル、ツマミ、レバー類の
ロックは確実に行って、落下や転倒を防いで
ください。
また、3本の脚を十分に開いてください。
脚の開きが不十分だと不安定でカメラブレや
転倒の原因になります。

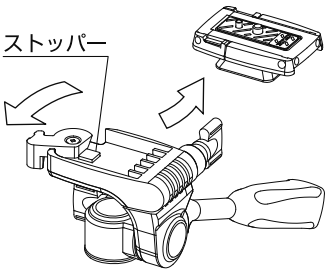
雲台取り付けネジ

⃠ 禁止

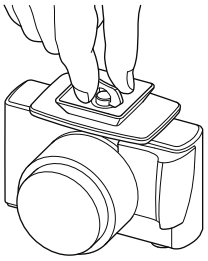


カメラを直接三脚やポールに取り付けることは、
故障の原因になります。
雲台などを介して取り付けてください。
一脚として使用する場合は、付属のアダプターセット
を使用してください。
アダプターセットの取り付け方は、
「一脚として使う時」を参照してください。

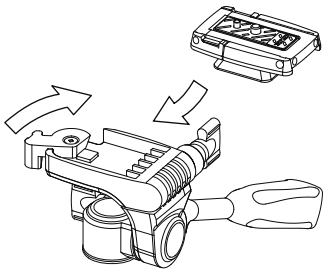
カメラの取り付け方



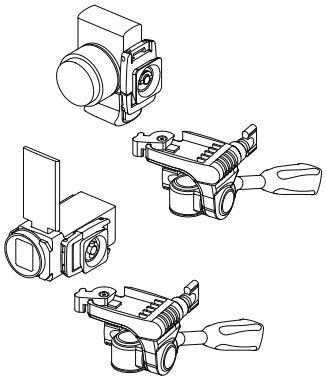
シューロックレバーを起こしながら
クイックシューを取り外します。
このときシューロックレバーは、
ストッパーにより起きた状態に
なっていますので、無理に戻さない
ように注意してください。



ビデオボスは沈下式のため、
ビデオカメラ・デジタルカメラどちら
にも使えます。
ビデオカメラの場合は、ボス穴と
ビデオボスを一致させて取り付け
てください。

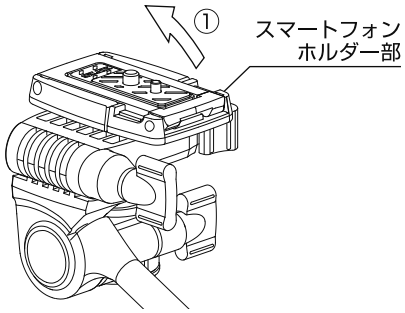


カメラの三脚取り付けネジと
クイックシューのカメラネジを
合わせてツマミをしっかりと
締め付け、雲台にシューを戻し、
シューロックレバーでしっかりと
締め込みます。

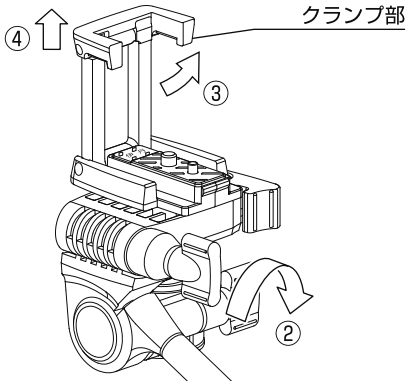


クイックシューは縦向き・横向き
どちらでも取り付けできます。
ビデオカメラの場合は縦向き、
デジタルカメラの場合は横向きで
取り付けると安定して撮影できます。

スマートフォンの取り付け方

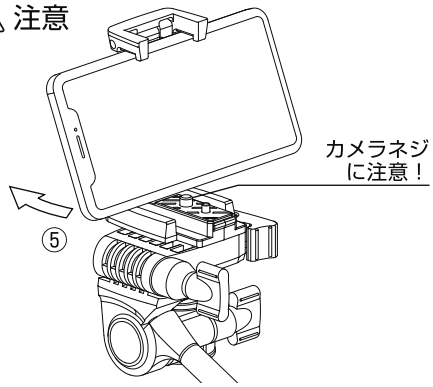


スマートフォンを取り付けるときは、クイック
シューを図のような向きで取り付けてください。
① クイックシューのスマートフォンホルダー部
を矢印の方向に起こします。



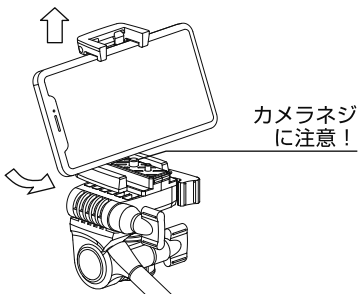
② カメラ台ストッパーを締め付けます。
③ クランプ部を矢印の方向に起こします。
④ クランプ部を真上に引き上げます。

⚠ 注意

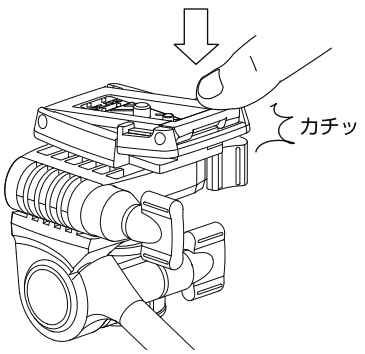


⑤ クランプ部を引き上げながら、スマートフォン
を取り付けます。
注意：スマートフォンを取り付けるときに、
カメラネジに当たらないように注意してください。

⚠ 注意



使用後は、クランプ部を引き上げながらスマート
フォンを取り外します。
注意：スマートフォンを取り外すときに、
カメラネジに当たらないように注意してください。
また、スマートフォンホルダー部に指をはさまない
ように気を付けてください。



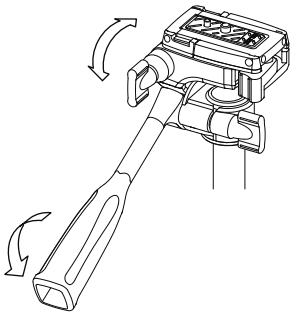
スマートフォンホルダー部を収納するときは、
クランプ部をたたんでからスマートフォンホルダー
部をカチッと鳴るまで押し込んでください。

スマートフォン取り付け時の注意事項

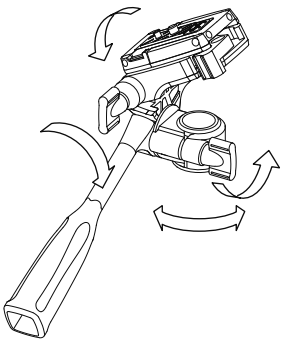
⚠ 注意

・スマートフォンや外装ケースの形状によっては
使用可能サイズ内でも確実な取り付けができない
場合があります。
使用前にご確認ください。
・スマートフォンを取り付けるときに、カメラネジ
に当たらないように注意してください。
また、指をはさまないように注意してください。
・スマートフォンホルダー部やクランプ部を過度な
力で引いたり奥側に倒すと、部品が破損する恐れ
があります。
過度な力を掛けないように注意してください。

雲台の使い方

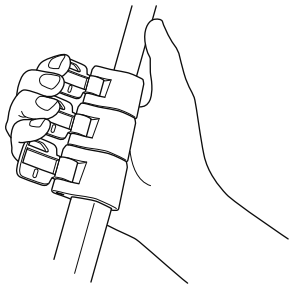


ビデオにもスチルにも使える３動作分離雲台です。
雲台の角度調整を行うときは、必ずハンドルや
ストッパーをゆるめてから操作してください。
パンハンドルをゆるめると、カメラを上向き・下向き
にティルトできます。



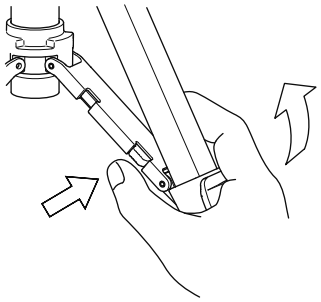
パンストッパーをゆるめると、カメラを左右方向に
パンできます。
縦位置撮影は、カメラ台ストッパーをゆるめて、
カメラ台をたててください。

ポールの伸縮

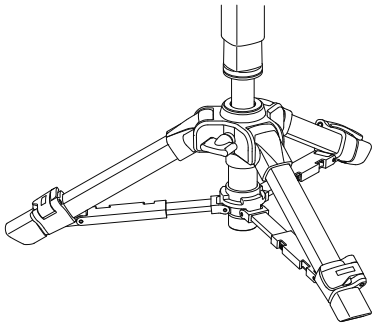


ポールロックレバーをおこすとポールの伸縮が
フリーになり、倒すとロックします。
起こし方が十分でないとスムーズに動かないことが
あります。

開脚角を変える

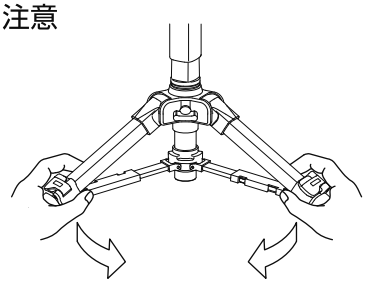


ステー開脚ボタンを押しながら開くと、ステーが
伸びて開脚角度が広がります。



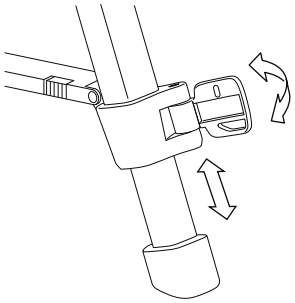
全ての脚を同じように開脚させると、安定度を
高くすることができます。
なるべく脚を開いて使用してください。

⚠ 注意

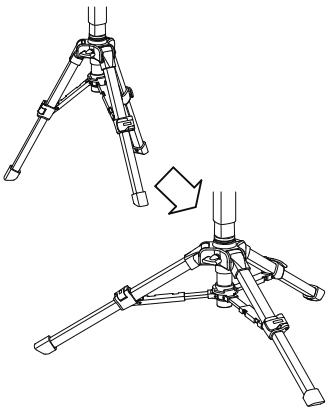


開脚角度を戻すときは、脚を持ったまま閉じると
自動的に元の開脚角度に戻ります。
戻りにくい場合は、ステーを少し持ち上げてから
脚を閉じてください。
脚を閉じるときに指などを挟まないように注意して
ください。

脚の伸ばし方

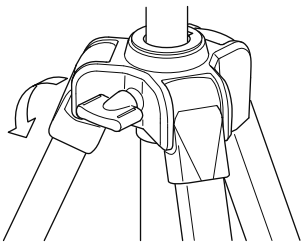


脚ロックレバーを開くとパイプは
伸縮できます。
希望の位置でレバーをしっかりロック
してください。



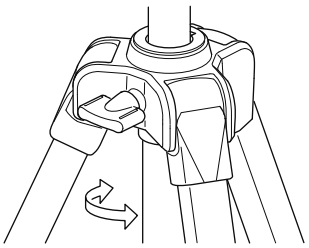
脚を伸ばすときは、安定度を高く
するために開脚角度を広くして
お使いください。

エレベーターの使い方



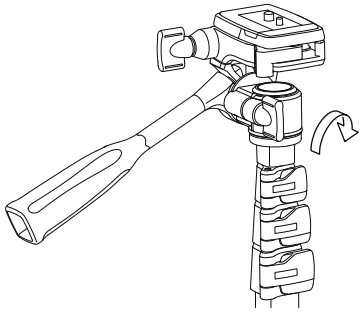
エレベーターストッパーをゆるめると、
エレベーターを上下できます。
エレベーターから手を離す前に
エレベーターストッパーをしっかり
ロックしてください。

エレベーターのかたさ調整

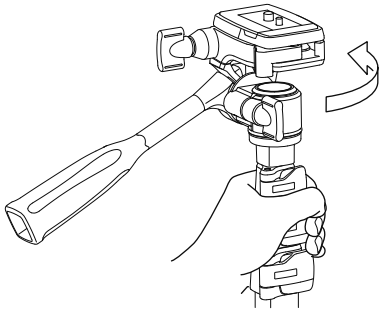


エレベーターの動きがかたすぎたり、
ゆるすぎたりしたときは、
カバーパイプをまわしてかたさを
調整してください。

雲台の取り外し

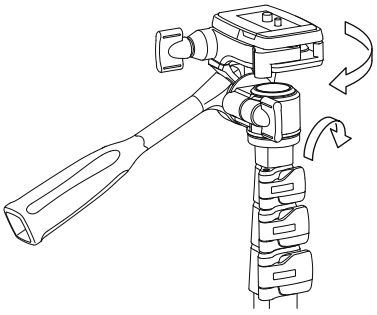


他の雲台やアクセサリーをこの脚に取り付けたい
ときは、次の方法で交換してください。
初めに、雲台のパンストッパーをしっかりと
締め込みます。



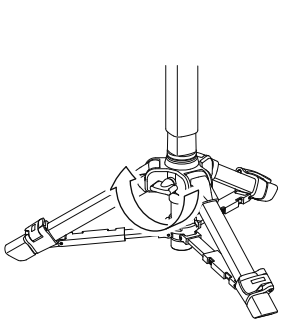
次にポールと雲台を握って力強く反時計まわりに
雲台を回します。
これで雲台がゆるみます。

雲台の取り付け

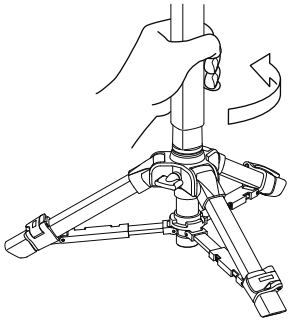


雲台(アクセサリー)とポール上部のネジを合わせて
雲台を時計まわりに止まるまで回します。
ポールをしっかりと握って雲台をさらに時計まわり
にねじ込みます。

ポールの取り外し

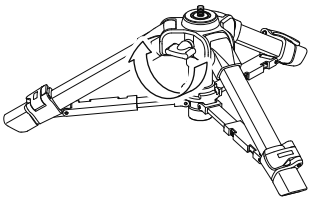


初めに、三脚部のエレベーター
ストッパーをしっかり締め込みます。

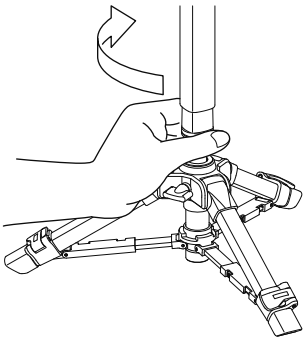


次に、ポールを握って力強く反時計
まわりにポールをまわします。

ポールの取り付け



初めに、三脚部のエレベーター
ストッパーをしっかり締め込みます。

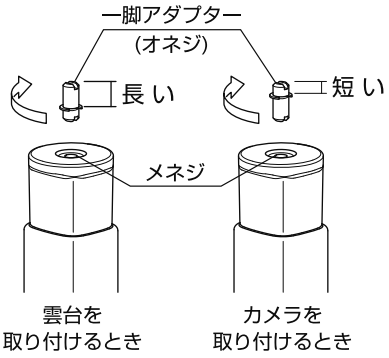


次に、ポールと三脚のネジを合わせ、
ポールを時計まわりにねじ込みます。

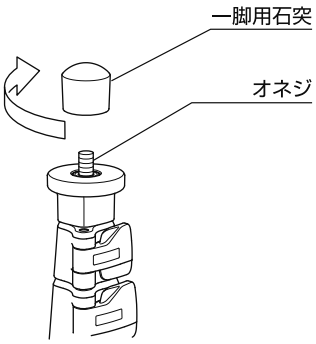
一脚として使う時



付属のアダプターセットを取り付けると、
一脚として使用する事ができます。
雲台を併用するとカメラの取り回し範囲が
広がります。

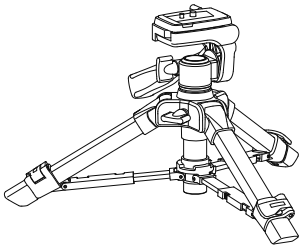


付属の一脚アダプターを時計まわりに回して、
ポールのメネジに取り付けます。
ポールに雲台を付けるときは長い方を上に、
カメラを直接付けるときは短い方を上にして
取り付けてください。

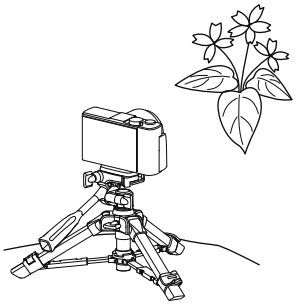


次に付属の一脚用石突を時計まわりに回して、
ポールのオネジに取り付けます。
一脚用石突を取り付けた側を下にして使用して
ください。

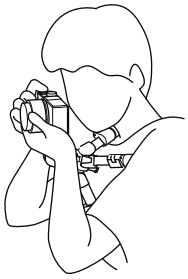
テーブル三脚



ポールを取り外すことによって、
テーブル三脚として使用することが
できます。

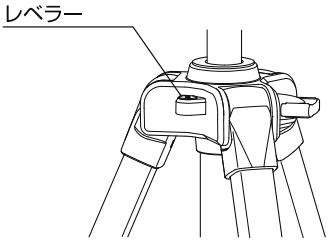


地面や床において使えば、
ローポジションでの撮影が可能です。



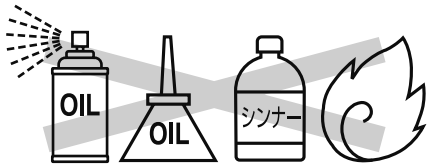
三脚を胸にあてがうと、手振れを
抑制することができます。
望遠撮影やスローシャッター時に
威力を発揮します。

レベラー



三脚の本体上部にあるレベラーを
使用すると、写真撮影時に水平調整の
めやすとすることができます。

禁止



- 三脚や雲台各部へのオイル・グリス等の補充は絶対にしないでください。
  破損、故障の原因となります。
  可動部の動きが悪くなってきた場合は、お買い求めの販売店または
  アフターサービスへご依頼ください。
- 火に近づけないようにしてください。
  夏など高温になる車内などに長時間放置しないでください。

お手入れ

- よごれたときには、中性洗剤をやわらかな布につけてふいてください。
  その後、きれいな乾いた布でふいてください。

本製品の補修用性能部品は製造中止後5年を目安に保有しております。
したがって本期間中は修理をお受けいたします。

インターネット・ホームページ　http://www.slik.co.jp/

＊改良のため、お断りなくデザイン、仕様を変更することがありますのでご了承ください。

©2022 SLIK CORPORATION